

キャピラリーの保存方法 ガイド

- ※ キャピラリーは基本的に、使用しているバッファで4分間フラッシュした後、カートリッジから取り外し、納入時の箱に入れて保管します。
その場合、バッファが電極部分に浸かったままだと、バッファがだんだん乾燥して、電極・プレパンチャー部分に塩が析出し不具合の原因になりますので、バッファバイアルも必ず取り外してください。

- ※ 翌日または、土日をはさんですぐに使用する場合は、装置に取り付けたままでもかまいません。その場合は、バッファバイアルがリフトで上げられて、キャピラリーの先端がバッファに浸かる状態にしておいてください。

- ※ コーティングキャピラリーの場合は、そのキャピラリーに付属している説明書に従って、キャピラリーを洗浄した後、箱に入れて保管してください。

- ※ **Basic Anion Buffer(pH12.1)**の場合は、バッファがはいつたまま保管するとキャピラリーが劣化します。マニュアルに従って、水で洗浄した後、空気でフラッシュし、乾燥させてから保管ください。

- ※ **50mM**以上の濃い塩濃度のバッファや、**SDS・CD**等の添加剤を加えたバッファを使用した時は、水で洗浄してから、空気をフラッシュし、乾燥させて保管ください。